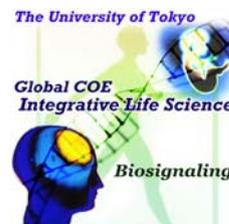


平成 22 年度 医学共通講義Ⅲ  
機能生物学入門  
新基盤生命学講義 (GCOE「統合生命学」)



演題: 嗅覚神経系の研究は、情動の神経メカニズムの理解に  
どこまで貢献できるのか?

演者: 東京大学大学院医学系研究科・細胞分子生理分野  
教授 森 憲作

日時: 平成 22 年 10 月 18 日(月) 14:30~16:00

場所: 医学部教育研究棟 13 階 第 6 セミナー室

ネズミは、特定のにおいを嗅ぐと典型的な情動行動やモチベーション行動を示す。たとえば、食べ物の匂いにより探索行動や摂食行動を示し、ネコやキツネなどの捕食動物のにおいがすると逃避行動や恐怖反応を示す。これらより、ネズミの嗅覚中枢神経系の研究により、「情動」や「モチベーション」の神経メカニズムの理解に迫れるのではないかと予想される。本セミナーでは、近年になっての嗅覚神経系の知識の進歩を概説し、この知識が情動の神経メカニズムの理解にどのように結びつくかについて議論する。



【担当教室】 大学院医学系研究科・細胞分子生理分野  
(教授 森 憲作)

【問い合わせ先】 医学系研究科 構造生理学教室  
TEL : 03(5841)1440

<http://www.bm2.m.u-tokyo.ac.jp/>